

穴沢学長から学位記を受け取る小樽商科大の卒業生



樽商大生 新たな一歩

550人が学位記授与式

小樽商科大で17日、卒業式にあたる学位記授与式が行われ、学部生507人と大学院生43人の計550人が社会へ新たな一歩を踏み出した。新型コロナウイルス感染防止のため、式は2回に分け、出席者も制限した。

昨年に続いて、保護者は参列せず、卒業生のみが出席。同大のホームページで式典の様子を動画配信した。

商学科や社会情報学科の

卒業生らが参加した午後の回では、穴沢真学長が各学科の学生代表に学位記を手渡し、「社会に出てからも継続的な学びを忘れずに」と激励の言葉を贈った。

4月から道内の建設会社（ひろ）で勤務する商学科の安藤大將（まさ）さん(22)は「コロナ禍でも先生方は丁寧に授業してくれ、多くのことを学んだ。地元と世界に貢献できる社会人になりたい」と話していた。（宮本夕梨華）